

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2025 年 3 月 30 日作成 第 2.0 版

研究課題名	不育症患者における染色体分析の実態把握
研究の対象	2000 年 1 月 1 日から 2028 年 3 月 31 日までに横浜市立大学附属市民総合医療センター総合周産期母子医療センターの不育外来を受診し、不育症検査・治療を受けた夫婦を対象とします。
研究の目的	不育症は繰り返す流・死産によって生児を得られない状態であり、これらの不育症患者さんの原因として、年齢、抗リン脂質抗体症候群、血液凝固異常、内分泌疾患、子宮奇形、染色体異常などがあげられます。本研究では不育症患者さんの染色体検査に着目して、検査の実施状況、それぞれの染色体異常の妊娠予後に関して電子カルテ上の診療録を解析検討し、今後の医療に役立てることを目的としています。
研究の方法	診療録から情報を収集して、染色体分析実施の実態について検討します。 通常の診療で得られた情報を用いますので、研究対象の方のご負担になることはありません。
研究期間	西暦 2022 年 6 月 14 日（研究機関の長の許可日）～ 西暦 2030 年 3 月 31 日
研究に用いる 試料・情報の項目	【情報】診療録から以下の情報を収集します。 年齢、性別、既往歴、合併症、既往妊娠分娩歴、染色体分析実施の有無、結果 他の不育症の原因の有無、妊娠転機など
試料・情報の授受	本研究では、外部機関との検体・情報の授受はありません。 情報は、当院で少なくとも 5 年間保管します。また二次利用の可能性があるので、保管期間終了後も期間を定めず保管します。
個人情報の管理	情報は、個人名など単体で個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号（識別コード）で管理します。必要時に個人を照合できるよう管理する表（以下、対応表）を作成して、個人と識別コードから個人を特定することが可能になりますが、その対応表は当院外へ提供することはありません。
試料・情報の管理について責任を有する者	当院の個人情報の管理責任者は病院長であります。その責務を以下の者に委任され管理されます。 研究責任者：横浜市立大学附属市民総合医療センター 遺伝子診療科/総合周産期母子医療センター 田野島美城
利益相反	本研究は、横浜市立大学の基礎研究費を用いて行います。開示すべき利益相反はありません。

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設研究用）

研究組織 （利用する者の 範囲）	【研究機関と研究責任者】 横浜市立大学附属市民総合医療センター 遺伝子診療科/総合周産期母子医療センター （研究責任者）田野島美城
本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。 また、情報が当該研究に用いられることについて研究の対象の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究の対象の方に不利益が生じることはございません。ただし、拒否のお申し出をいただいた段階で既に研究結果が公表されていたときなど、データから除けない場合があります。	
問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57 横浜市立大学附属市民総合医療センター 遺伝子診療科/総合周産期母子医療センター （問い合わせ担当者）田野島 美城 電話番号：045 - 261-5656（代表）	